

授業科目名	幼児と人間関係		科目コード	204020	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1 年
担当教員	米丸 真由美		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 保育所・保育園及び認定こども園の現場に 19 年ほど勤務し、各年齢のクラス担任を経験。実務経験を活かし、年齢や段階における人との関わりの発達とそれに対する保育者の援助を具体的に学べる授業を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	平成 29 年告示『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 原本			
	著 者	文部科学省 厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省			
	出版社	チャイルド本社			
使 用 テキスト 2	書 名	『幼児と人間関係』－保育者をめざす－			
	著 者	金 俊華・垂見直樹 編著 福留留美・橋本 翼 著			
	出版社	同文書院			
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 子どもを取り巻く社会の状況に関して知識を持ち、様々な人との関わりを理解する。 ・ 子どもが成長する過程において、人と関わりながら、豊かな体験をすることの重要性を理解する。					
<授業の概要・授業方針> ・ 領域「人間関係」の理解を深めることができるよう、事例となる子どもの姿を交えながら授業を行う。 ・ 「人間関係」に関する知識を得るとともに、子どもを取り巻く環境とその背景が理解できる。また、そういった現状を踏まえ、幼児期に人間関係を育むためには、多様な体験や保育者の関わりが重要である事を理解できる。					
<成績基準・評価基準> ・ レポート 50% ・ 科目終末試験 50% 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名		幼児と人間関係	
回	授 業 内 容	備 考	
1	人は関係の中で育つ		
2	幼児期に育みたい資質・能力		
3	領域「人間関係」ねらいと内容		
4	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿		
5	領域「人間関係」の社会的背景		
6	子どもを取り巻く社会の状況 縮小する家族		
7	子どもを取り巻く社会の状況 母親の就労		
8	子どもを取り巻く社会の状況 変化する生活環境		
9	子どもを取り巻く社会の状況 人と関わりながら育つ		
10	子ども・若者の「個性」と「人間関係」		
11	社会的存在としての自己		
12	まとめ、レポート①		
13	子どもの家庭背景 家庭の多様性		
14	子どもの育ちに対する家庭の影響		
15	子ども家庭支援の重要性		
16	保育者に必要な幼児教育・保育の視点①		
17	保育者に必要な幼児教育・保育の視点②		
18	まとめ、レポート②		
19	障がいのある子どもの理解		
20	その他の特別なニーズのある子ども達の理解		
21	特別な支援が必要な子どもを「包み込む」保育・教育		
22	まとめ、レポート③		
23	領域「人間関係」のねらい①		
24	領域「人間関係」のねらい②		
25	まとめ、レポート④		
26	子どもとのかかわりを通した幼児理解と評価		
27	まとめ、レポート⑤		
28	小学校移行の考え方		
29	保育現場における実践を考える		
30	まとめ、レポート⑥		